令和８年度愛知県栄養教諭研修会及び総会

令和８年５月２７日（水）ウィルあいち ウィルホールにて、講演及び総会式典が開催されました。

講演　演題「Health から Wellness～幸せを与える栄養教諭～」

講師　臨床心理士・公認心理師　山口　力氏



ご講演では、栄養教諭は「健康の指導」にとどまらず、食を通して児童生徒や教職員に「幸福（Wellness）」をもたらす役割があることをご教示いただきました。講演を通じて、学校現場において食の重要性を理解してもらうためには、正論を伝えるだけではなく、自ら現場に足を運び、児童生徒を理解し、管理職、養護教諭、学級担任等と日頃から密にコミュニケーションを図り、信頼関係を築いていく「歩く栄養教諭」としての姿勢が重要であることを学びました。

また、個別的な相談指導における「傾聴」の大切さについても改めて理解を深めました。成長曲線に気掛かりな実情があって来校される保護者は、不安や戸惑いを抱えていることが多く、栄養教諭が扱う「数字」は客観的な指標である一方で、使い方によっては相手を追い詰めてしまう可能性があることも教えていただきました。数字が脅しとならないように、本人の思いに寄り添いながら目標を共に考えるという「カウンセリングマインド」の重要性を再認識いたしました。また、実践を行うにあたり、正論や客観的な数字だけでなく、周りとの信頼関係を築いたり、相手の気持ちや立場に立って考えたりして進めていくことの重要さを学びました。今回学んだことを生かし、児童生徒のよりよい成長と学校全体の幸福に貢献できる栄養教諭を目指して、児童生徒の指導や支援に取り組んでいきたいです。

【ご講演を拝聴しての感想】

先生のご講演を拝聴し、過去の栄養相談における自身の関わり方を深く振り返る機会となりました。よかれと思って行ったアドバイスが、相手のタイミングを無視した一方的な押しつけになっていたのではないかと気付かされました。今後は、常に相手の気持ちに寄り添って共に歩む「伴走型」の支援を心がけ、関わる方々を笑顔にできる栄養教諭になれるよう、取り組んでいこうと思います。

総会式典

愛知県教育委員会保健体育課 課長補佐 浅野博史様はじめ、愛知県小中学校長会会長、公益財団法人愛知県学校給食会理事長、愛知県高等学校給食研究協議会会長、愛知県特別支援学校長会副会長、愛知県学校給食センター連絡協議会会長にお越しいただき、ご祝辞を頂戴いたしました。

